

2018年12月定例自然観察会実施報告書

実施日時	2018年12月8日(土) 10:10～14:30	天候/晴れ
担当班	2班	
テーマ	神戸に残された貴重な原生林を探る	
コース	太山寺山門～中門横～太山寺北原生林～山頂～同じ道を戻り～南斜面の一部往復～太山寺横～山門前バス停	
参加者	ビジター56名、会員28名(内2班 19名) (12月1日の自主研修会の参加者は33名(内2班12名))	
配布資料	観察会ルートマップおよび樹木リスト	
案内者	5班体制:1班/岡本、2班/苅谷、3班/西、4班/吉川、5班/荻野、 会員/畑中 当地話題:山門/清原、観音道/柏堂、役行者/倉重	

■観察会内容

この冬一番の寒さが予想(予想最高気温9℃)される中、参加者の人数が心配されましたが、バスが到着する毎にビジターの方が続々降りてこれ、合計56名という予想を超える大勢となりました。

1.山門(仁王門)の説明

山門は寺院一山の正門を意味し、いわば俗世と寺院を区切る境界門。日本では当初、山がない所でも寺院が作られ、中国に倣って山号を頂く寺院名が付けられました。例えば鳥形山(とりがたやま)飛鳥寺や荒陵山(あらかさん)四天王寺という風に。お寺に山号が付いていることから、お寺の正門は山門(さんもん)と呼ばれるようになりました。

山門は重層の楼門が本格で、太山寺の山門も創建当初は楼門だったが、室町時代に移築された折に平屋にしたようです。両脇に仁王像が配されている山門は、平安以降、仁王門と呼ばれるようになりました。仁王像は正式には金剛力士像と言ひ、仏教の守護神です。口を開けた阿形像と口を結んだ吽形像の二体が一對になっているのが普通です。これも又、仏教の教えに由来しています。その他、構造上の特記事項(建屋の上部荷重を分散するための臺股(かえるまた)や軒の荷重を支える構造部材、等)の説明も有りました。



(山門の説明)

2.山門～中門 の観察ポイント

- ・ゴモジュの葉を揉むと胡麻の匂いがします。
- ・ダイオウマツの長い3葉(中には4葉のものも有った・・・)と大型の球果
- ・センリョウ、マンリョウの区別
- ・ヒメウズ、カラスノゴマ、ツルゴ
- ・キリの果実の中の夥しい種子およびその風散布の実証
- ・テイカカズラの八の字状の果実

3. 中門～北原生林入口 の観察ポイント

- ・ナツツタが板塀を吸盤でよじ登っている様子
- ・コマツヨイグサの特徴: 這っていること。
- ・極相林への植物遷移のイメージ: 草原(1・2年生草本→多年性草本)→アカマツ等の常緑針葉樹林・コナラ・アベマキ等の落葉広葉樹林(雑木林)→シイ・カシ類の照葉樹林(常緑広葉樹林) = 極相
- ・極相林である太山寺北原生林原生林と少し離れた所の里山との比較 (極相林の説明)
- ・コウテイダリア(花)、マサキ(果実)、アオツヅラフジ
- ・ノブドウ、ツルウメモドキ、ヤブマメ(果実)
- ・ナナミノキの大木



4. 北原生林入口で「観音道」の説明

仏教の考え方に「六道輪廻」という考えがあります。人間はこの世の所業によって来世に生まれ変わる道が違うという考えで、天道、人間道、修羅道、餓鬼道、畜生道、地獄道でそれぞれに救いの観音様(六観音とか七観音)がおられます。西国33か所霊場参拝は、たくさんある観音様から特に靈験のある観音様を選び、巡礼すればこの世の悪行はすべて消滅すると言われています。

四国88か所は1400km、西国33か所は1000kmもあり庶民には到底巡礼できませんから、各地に縮小版が作られ、観音道としてまつられました。ここはそのうちのひとつで、古いものは明治4年、新しいものは昭和3年の年号が石碑に残っています。

六甲山のシュラインロードも観音道の一つです。あそこも1番から33番までの観音様がまつられています。

5. 北原生林入口～山頂 の観察ポイント

- ・道の両側にツブラジイの実生・稚樹が沢山ある。ギャップの箇所(上方が空間)に幼木が多い。
- ・樹冠の確認: ツブラジイの高木が沢山あり、上方を見上げると葉をつけた枝の広がった樹冠がお互いに譲り合って隙間が網目状に見えてモザイク模様のようなものである。お互いが光合成活動を妨げない為に枝の成長を抑制するエチレングスを出しているからだとも言われている。
- ・暗い林床にサネカズラ群。リンボク。
- ・別名ヒョンノキと言われるイスノキの大木。筋骨隆々としたアカシデ。アベマキの大木。
- ・神戸層群と花崗岩とが隣接している様子。
- ・オオウラジロノキ: 若い幹に目立つ棘、葉の特徴(ウラジロノキ程の白さは無く、重鋸歯も著しくない)、実の特徴(ウラジロノキの実より大きく30mm径程度)。

6. 山頂で役行者の説明

山頂に役行者の像がある。奈良県御所市にある吉祥草寺で634年(飛鳥時代)に生まれたと伝えられている。3歳で文字を覚え、8歳で儒教を学んだといわれている。17歳のころには学問の限界を感じて入山し、山での修業を始めた。その頃、元興寺(現在の飛鳥寺)の高僧が孔雀明王の呪法を伝えた。役行者はさらに修業を重ね、周囲には彼を慕う人々が集まり、一つの集団を形成していき、修業道という宗派が形づくられていった。役行者は全国の山々で修業をしているが、六甲山も修験道の行場とするために開発している。その

為か役行者の近縁にあたる四鬼氏を北六甲の唐櫃の地に移住させて、六甲修験道の総元締めとして唐櫃村や西六甲全般を管理させている。

太山寺の創立の発願者は、藤原鎌足である。その鎌足が病に罹った時に治したのが役行者であるといわれている。役行者は1300年前に大和地方で疫病が流行った時にキハダの皮を剥いで大釜で煎じた薬を用い多くの人々の病を治したとのこと。その薬は今でもよく知られている「陀羅尼助」である。救われた人々の中に鎌足がいたと考えれば太山寺裏山の座像の理由が頷かれる。



(役行者の説明)

7. 山頂周辺 の観察ポイント

- ・よく似た葉の比較と同定ポイント:ヒサカキ、クロバイ、シヤシヤンボ。
- ・冬芽の特徴と比較:サカキ、クロバイ、他。

8. 南斜面一部 の観察ポイント

- ・ウバメガシが悪条件の環境(斜面、花崗岩)に群生している様子。
- ・ウバメガシで作った備長炭の空隙(消臭に役立つ)の様子をハンディ顕微鏡で観察 (一部の班)
- ・オガタマノキの高木と果実:果実がはげて中の真っ赤な種子が見える様子から神楽鈴が考え出されたと伝えられている。



(山頂付近での観察)



(斜面にウバメガシの群生)



(ハンディ顕微鏡で備長炭の観察)

■ 後記

当初予定していたコースの一部が台風21号による倒木・崖崩れ等の影響で通行止めになったので急遽コースを変更せざるを得ない状況となりました。そのために磨崖仏も残念ながら見に行けませんでした。結果、観察コース総距離が短くなり、特に北斜面の植生と好対照の南斜面に広がる落葉広葉樹の様子を比較観察することが出来なくなりましたが、その分、原生林の様子をゆっくりと時間をかけて観察できたのは良かったと思います。

寒さが厳しく、特に山頂に着く頃から更に厳しさを増しましたが、緊急事態が発生することもなく無事に観察会を終了できたのは何よりだったと思います。

六甲山自然案内人の会 定例自然観察会

2018年12月8日 太山寺

樹木リスト

	和名	科	落葉・常緑		和名	科	落葉・常緑
1	木 アオキ	アオキ	常緑	36	木 センニンソウ	キンポウゲ	半常緑
2	木 アオツツラフジ	ツツラフジ	落葉	37	木 ソヨゴ	モチノキ	常緑
3	木 アカシデ	カバノキ	落葉	38	木 ダイオウマツ	マツ	常緑
4	木 アカメガシワ	トウダイグサ	落葉	39	木 タカノツメ	ウコギ	落葉
5	木 アケビ	アケビ	落葉	40	木 タラヨウ	モチノキ	常緑
6	木 アベマキ	ブナ	落葉	41	木 ツタ(ナツツタ)	ブドウ	落葉
7	木 アラカシ	ブナ	常緑	42	木 ツブラジイ(コジイ)	ブナ	常緑
8	木 イスノキ	マンサク	常緑	43	木 ツルウメモドキ	ニシキギ	落葉
9	木 イタビカズラ	クワ	常緑	44	木 ツルグミ	グミ	常緑
10	木 イヌビワ	クワ	落葉	45	木 テイカカズラ	キョウチクトウ	常緑
11	木 イロハモミジ	ムクロジ	落葉	46	木 ナツフジ	マメ	落葉
12	木 ウバメガシ	ブナ	常緑	47	木 ナナミノキ	モチノキ	常緑
13	木 ウラジロガシ	ブナ	常緑	48	木 ネジキ	ツツジ	落葉
14	木 エノキ	アサ	落葉	49	木 ネズミサシ	ヒノキ	常緑
15	木 オオウラジロノキ	バラ	落葉	50	木 ネズミモチ	モクセイ	常緑
16	木 オガタマノキ	モクレン	常緑	51	木 ノブドウ	ブドウ	落葉
17	木 カゴノキ	クスノキ	常緑	52	木 ハリギリ	ウコギ	落葉
18	木 カナメモチ	バラ	常緑	53	木 ヒイラギ	モクセイ	常緑
19	木 カラスザンショウ	ミカン	落葉	54	木 ヒサカキ	モッコク	常緑
20	木 キツタ	ウコギ	常緑	55	木 ヒメユズリハ	ユズリハ	常緑
21	木 キリ	キリ	落葉	56	木 フジ	マメ	落葉
22	木 クサギ	シソ	落葉	57	木 ヘクソカズラ	アカネ	落葉
23	木 クスノキ	クスノキ	常緑	58	木 マルバアオダモ	モクセイ	落葉
24	木 クリ	ブナ	落葉	59	木 マンリョウ	サクラソウ	常緑
25	木 クロガネモチ	モチノキ	常緑	60	木 ムクノキ	アサ	落葉
26	木 クロバイ	ハイノキ	常緑	61	木 ムベ	アケビ	常緑
27	木 コウヤボウキ	キク	落葉	62	木 モチノキ	モチノキ	常緑
28	木 コナラ	ブナ	落葉	63	木 モッコク	モッコク	常緑
29	木 ゴモジュ	レンプクソウ	常緑	64	木 ヤブツバキ	ツバキ	常緑
30	木 サカキ	モッコク	常緑	65	木 ヤブニッケイ	クスノキ	常緑
31	木 サネカズラ	マツブサ	常緑	66	木 ヤブムラサキ	シソ	落葉
32	木 サルトリイバラ	サルトリイバラ	落葉	67	木 ヤマウルシ	ウルシ	落葉
33	木 シャシャンボ	ツツジ	常緑	68	木 ヤマモモ	ヤマモモ	常緑
34	木 スダジイ	ブナ	常緑	69	木 リョウブ	リョウブ	落葉
35	木 センダン	センダン	落葉	70	木 リンボク	バラ	常緑